

平成 30 年度 第 2 回 みえ公民連携共創プラットフォーム

～サウンディング基礎資料～

三重県教育委員会事務局(社会教育・文化財保護課)

◎基礎資料

項目	内容
1. 団体名	三重県教育委員会事務局 (担当課: 社会教育・文化財保護課)
2. 事業名	未定 (※鈴鹿青少年センター等への民間活力導入を予定している)
・事業内容	現在指定管理者制度で管理運営を行っている「鈴鹿青少年センター」について、(1)収益改善、(2)一般利用への用途拡大、(3)学校利用(集団宿泊や野外活動など)の機能の一定確保、の3つの基本事項を満たしつつ、施設リノベーションによる新たな機能の導入や、隣接する鈴鹿青少年の森公園の活性化等(必須ではない)も合わせ、複数年、何らかの民間活用手法にて(1)~(3)の同時実現をはかりたい。
・事業実施にあたり重視する点	上記(1)~(3)の同時実現。現時点で、これら以外に、特に民間活用事業スキーム、事業範囲で決定していることはない。
・事業の種類 ※該当する番号に○(複数可)	1.新設 2.建替え ③改修 4.管理運営のみ ⑤公有地活用 6.包括委託 ⑦その他(一部施設の管理運営警備含む)
・施設等の用途	青少年教育施設、都市公園
3. サウンディングの目的	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度、県が進めている「県有施設の見直し」取組において「(鈴鹿青少年センターについては) 民間による有効活用も視野に入れながら、平成 31 年度末までに方向性を定める」ととしている。 平成 30 年度、地方プラットフォームにおいて官民連携グループワークを行う。 <p>【サウンディングを行う目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回グループワークより深く民間事業者の方々と意見交換(当該施設および隣接都市公園の収益等ポテンシャル見込み、成功可能性の高い事業アイデアや希望する公募条件案、望ましい選定手法のあり方、など)を行いたいため。
4. 事業対象地の概要	
①所在地(交通情報含む)	三重県鈴鹿市住吉町 ・伊勢鉄道鈴鹿サーキット稻生駅から約 3km 徒歩約 35 分

②敷地面積	約2万m ² （鈴鹿青少年センターのみ）	
③土地利用上の制約	第二種住居地域（建蔽率60%・容積率200%）	
④土地所有者	三重県（県土整備部）、鈴鹿市	
⑤周辺施設等	隣接には県都市公園「鈴鹿青少年の森」、約50万m ² がある。 ※鈴鹿サーキットも近接である。	
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	F1などモータースポーツで有名な鈴鹿サーキットの近くにある公園、施設というイメージ。青少年教育施設である鈴鹿青少年センターは、主目的が学校利用による体験宿泊であるため、ほぼ一般市民に親しまれていないと思われる。都市公園も常時賑わっているというイメージはない。	
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	都市公園「鈴鹿青少年の森」については、都市公園法許可による使用、を想定している（県土整備部所管）。	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称	鈴鹿青少年センター ※鈴鹿青少年の森公園	※現名称が一般利用を遠ざけているとの意見もあり将来施設内容に応じた名称変更も想定
②施設の延床面積	約2万m ² ※都市公園は約50万m ²	※施設面積の拡張または縮小は考えていないが、否定するものではない
③建物の構成(構造、階数)	・管理研修棟 2F ・宿泊サービス棟 3F ・総合研修館棟（体育館）1F ※駐車場35台分あり ※都市公園には駐車場260台分あり	※同上
④主な施設の内容、導入機能	現在は、学校の集団宿泊や野外体験活動のための施設である	※一般利用拡大のための導入機能については、現在のところ行政側で決定する予定はない
⑤運営状況 (運営主体、事業手法 等)	指定管理者（施設と公園では別の指定管理者である） H30年度～H34年度	※事業手法、契約形態など未定
⑥その他 (上記項目以外の情報等)	—	—

5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称	上下水道、電気等あり ※昭和60年竣工	—
②規模、能力 等	—	—
③運営状況 (運営主体、事業手法 等)	—	—
④その他 (上記項目以外の情報等)	—	—
6. 事業関連		
①現状及び課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月。百五銀行主催「みえ公民連携共創プラットフォーム」にてグループワーク議題として本案件を提示。 今年度内に、別途公募型サウンディング調査を実施予定。 <p>【課題、悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> メイン利用は学校集団宿泊であることから、年度上半期に利用が集中し、下半期の利用率が極めて低くなっている。 施設の廃止、売却等では、行政目的が達せられないことから、現状利用形態も一定残しつつ、新たな利用者、新たな収益を得ることが必要（課題）と考えている。 PFI/PPPといった官民連携事業手法について、今回含め広く民間事業者の方々の意見、国や先進他自治体からのアドバイス等を、積極的に受けたいと考えている。 	
②利用状況等	<p>【利用者のターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の利用者は、ほぼ小中学校利用である。高校大学クラブ利用、家族利用も一定あり。今後、年間を通じて幅広い利用者に利用いただきたいと考えている。 <p>【施設等の所有形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物は全て三重県教育委員会所管 土地は三重県県土整備部と鈴鹿市の所有である <p>※都市公園については、土地施設とも三重県県土整備部</p>	
③目的、考え方・基本方針	<p>(1)収益改善 (2)利用拡大（通年、県内外、幅広い層） (3)児童生徒が集団宿泊や野外活動できる機能の一定確保</p>	
④事業スケジュール(案)	<p>【平成30年度】 民間意向調査 【平成31年度以降】未定</p>	

◎対話項目

項目	内容
1. 対話内容 ※意見・提案を求める内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業地のポテンシャル ・本事業への関心 ・本事業に見合う最適事業スキーム ・公募～選定方式に関する意見、提言、要望等 ・公園利活用意向の有無
2. 対話を希望する業種 ※該当する番号に○	<input checked="" type="checkbox"/> 1.設計 2.建設 <input checked="" type="checkbox"/> 3.ビル管理 4.金融 5.保険 <input checked="" type="checkbox"/> 6.不動産 <input checked="" type="checkbox"/> 7.運営 <input checked="" type="checkbox"/> 8.その他 (PPP 代表幹事経験者)

(添付資料) パワポ資料「鈴鹿青少年センター 民間活力の導入について」

■ 連絡先

団体名	三重県教育委員会事務局
住所	三重県津市広明町 13 (県庁 7 F)
部署名	社会教育・文化財保護課
役職	課長補佐兼班長
担当者氏名	樋口 慎也
電話番号	059-224-3322
メールアドレス	higucs00@pref.mie.jp
備考	